



ミッションは、交通事故のない社会の実現

「交通事故撲滅」をテーマに掲げる南福岡自動車学校(福岡県大野城市)。日本全国で年間約4千人の交通事故死者数を何とか減らしたいと、安全運転のノウハウをさまざまな形で広く伝えていきます。代表取締役社長の江上喜朗さんに、交通事故防止への思いや取り組みを聞きました。

車間時間4秒以上と2度以上の一時停止を

交通事故を減らすことは、「自動車に関わる企業、業界にとっての大命題」と話す江上さんは、先代社長の頃も含め、約20年前から九州大学名誉教授の松永勝也さんと共に交通事故防止の研究に取り組んできました。その結果、「2009年以降4千人台で推移している全国の交通事故死者を減らすのは難易度が高いと思われるが、ちだが、不可能ではない」と確信するに至ったといいます。

その実現方法とは「車間時間4秒以上」「見通しの悪い交差点での「2度以上の一時停止」の二つを習慣化すること。江上さんは「交通事故のほとんどは車両相互の事故。その4割は追



高校生を前に、大型トラックによる自転車巻き込み事故を江上さん自ら実演



年間30~40回実施する交通安全ボランティア。かめライダーは園児に大人気



「YELLOW SAFETYキャンペーン」とは?

子どもたちが元よく安全に通園・通学できる環境づくりを目指し、ドライバーに安全運転を呼び掛けるもので、2013年から西日本新聞社が展開。「黄色いかさ」や交通安全の約束を描いた「おえかきちょう」を福岡都市圏の幼稚園・保育園を中心に寄贈する他、福岡県内の団体や企業による交通安全の取り組みなどを紙面で紹介しています。

かめライダーになって交通安全ボランティアも

交通事故撲滅のための活動は、子ども向けにも実施しています。近隣にある中学、高校へは「自転車の安全な乗り方講習」「幼稚園や小学校へは「道路の安全な歩き方講習」など、社員がボランティアとして訪問。江上さんも交通安全ヒーロー「かめライダー」に変身し、大型トラックに自転車巻き込まれる模擬事故のスタントもこなして、「トラックに巻き込まれた自転車はペチャンコ。中学生に与えるインパクトは強く、安全運転、安全確認の大切さを胸に深く刻んでくれていると思います」。

自分の運転を客観的に「つもり運転」の改善を

南福岡自動車学校では、企業向けに安全運転研修を実施。自分の運転を5方向から撮影した映像をドライバーに確認してもらっています。「一時停止しているつもり、車間距離を取っているつもりだったが実際はできていなかったなど、自分の運転が客観的に分かるため、改善につながりやすい」と江上さん。

5人の交通安全ヒーロー「かめライダーず」



受講後、社員の交通事故が減った企業も多く、安全運転のためには「ドライバーは、自分がどんな運転をしているのか、誰かにチェックしてもらうといいでしょう」とアドバイスしてくれました。



「たった二つの習慣で交通事故が減らせることを、多くの人にもっと知ってもらいたい」と江上さん

YESキャンペーン個人協賛のお願い

福岡都市圏の園児たちを中心に「おえかきちょう」を贈るため、個人協賛のご協力をお願いします。

個人協賛 一口5,000円

郵便振替 [口座番号] 01720-0-123818

口座 [口座名称] 株式会社イソップエージェンシー

※西日本新聞朝刊に掲載する特集紙面にお名前を掲載します(ただし確認が取れた方のみ)
※払込用紙の通信欄に必ず「おえかきちょう」とご記入ください
※送金後のキャンセル、払い戻しはできません。ご了承ください

問い合わせ

- YELLOW SAFETYキャンペーン事務局 (イソップエージェンシー内)
- TEL 092-283-1780 (平日10時~17時)
- FAX 092-283-1220
- Eメール isop-a@fitcall.ne.jp

シリーズ はたらくクルマのドライバー vol.11

パトカー

パトカーの主な仕事は、管内のパトロール、交通取り締まり、事件事故の処理などです。パトカーが巡回するだけで、車両の速度超過、信号無視といった交通違反の防



筑紫野警察署交通課



穴見俊二さん(写真左)、山口尚美さん

止はもちろん、盗難をはじめとするさまざまな犯罪の防止につながります。パトロールは地域の安全を守る大切な防犯対策なのです。

パトロールは2人一組で実施します。助手席の警察官も、信号で止まるときは「信号停車」、右左折時は「右オーライ」「巻き込みなし」などの安全呼称を行い、運転に注意を払っています。

交通事故は「つい見落とし」「うっかり確認を忘れた」など、運転中の安全不確認や脇見運転が引き金となることが大半です。「ついうっかり」が重大事故につながりかねません。ドライバーの皆さん、周囲の状況をよく確認して、安全運転を。ルールを守って、悲しい事故を防止しましょう。